

第 2 回都市政策部会における意見の対応整理表

項目	意見要旨	対応方針
将来像 活力 働き方 改革	<p>「活力を生み出す」の中の、「全ての人が生きがいや達成感を持って仕事に取り組みながら、健康的に暮らしを楽しむことができる生活環境の整備」について、何をしていくのか具体的なイメージができるキーワードを記載してはどうか。</p>	<p>「可処分時間（生活の中で自由に使える時間）」を増やし、その時間を有効に活用することが生きがいや達成感につながるという趣旨です。</p> <p>ご指摘のとおり、「時間や場所にとらわれない働き方（多様な働き方）」、「職住近接」などのキーワードを追加します。</p> <p><対応案></p> <p>資料 4 の 1 ページ 将来像の『活力を生み出す』</p> <p>「多様な働き方や職住近接などにより、全ての人が生きがいや達成感を持って仕事に取り組みながら、家族との時間や仕事以外の活動を充実させるなど健康的に暮らしを楽しむことができる生活環境の整備」に修正します。</p>
将来像 魅力 都市と 農業の 関係	<p>農業の第 6 次産業化など、都市と農業の関係は重要だと思う。都市的土地利用と農的土地利用の関係性について記載してはどうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、都市と農業の関係は重要であり、具体の制度運用において、都市的土地利用や景観まちづくりなどの観点から、都市と農業の関係性を記載します。</p>
将来像 安全 安心 健康	<p>自転車利用の推進や過度の車依存からの脱却という観点から、「健康」というキーワードを将来像の中で強めに出し、「健康で安全・安心して暮らせる」のように記載してはどうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、健康というキーワードは重要であると認識しておりますが、安全・安心に暮らせる都市の中で、住民が健康な生活を営むことができると考えており、安全・安心が基軸にあると捉えています。また、事務局としては、7月豪雨災害も踏まえ、安全・安心に暮らせることを強く出すべきと考えていますので、将来像については、現行通りとし、具体の制度運用において、「健康」というキーワードを考慮した取組を位置付けていきたいと考えています。</p>
将来像 安全 安心 災害	<p>7月の豪雨災害について、様々な部会や委員会で専門家の方々が将来ビジョンを持ってどういうふうに取り組むべきか検討されているので、それらの意見を、今後、運用方針にもフィードバックさせる必要がある。</p>	<p>ご指摘のとおり、対応します。</p>

項目		意見要旨	対応方針
将来像	安全 安心 災害	日常的に豪雨災害が発生しており、平時と災害時の区別がなくなりつつあるということを認識し、平時から災害に対する意識を高めておくことについて記載してはどうか。	ご指摘のとおり、平時から災害に対する意識を高めるよう、具体の制度運用において、住民の防災意識の向上に係る取組や、発災後に速やかに復興に向けたまちづくりが行えるマニュアルの策定を位置付けます。
	安全 安心 地域医療の充実	都市の課題・潮流の日常生活サービスの維持・向上について、病院へのアクセスが確保されていることなど、地域医療の充実を強調してはどうか。	ご指摘のとおり、「医療機関へのアクセスの充実」、「地域医療の充実」などのキーワードを追加します。 <対応案> 資料4の1ページ 課題・潮流の日常生活サービスの維持・向上 「二次医療圏ごとのがん診療連携拠点病院の確保や医療機関へのアクセスの充実など、地域医療の充実が図られている。」に修正します。
都市づくりの方針	5. 計画的 土地利用	都市計画の一番根幹となっているのは居住人口であり、今後、人口フレームについての議論が大事になってくる。 高度経済成長期の人口爆発期に計画的に市街地を広げてきた時代から、人口減少により、コンパクトにしなければいけないとなると、区域区分の意味を再確認していかないといけない。	ご指摘のとおり、人口減少社会における人口フレームのあり方は重要なテーマであると考えています。人口フレームについて、国の示した考え方をベースとしつつ、地域の実情に応じた柔軟な対応ができるよう、基本的な考え方を位置付けます。 また、人口減少社会を踏まえ、区域区分の役割を整理するとともに、新たに、市街化区域から市街化調整区域への編入（逆線引き）などについて基本的な考え方を位置付けます。
		広島県は地質的に特殊な地域なので、そういった地域における開発許可制度はどうあるべきかを考えないといけない。	ご指摘のとおり、他法令に基づく危険な土地における開発許可制度のあり方など、立地基準に関して具体の制度運用において位置付けます。

項目	意見要旨	対応方針
都市づくりの方針	7. 市街地整備の推進 「安全・安心に暮らせる」の将来像における、市街地整備の推進という都市づくりの方針について、防災の観点からしかバリアフリー化が述べられていないが、道路の段差解消といった移動面のバリアフリー化もあり、表現を再検討してもらいたい。	ご指摘のとおり、バリアフリー化は防災の観点のみではないので、建物や道路などにおける移動面のバリアフリー化に触れた表現に修正します。 <対応案> 資料5の6ページ 7.市街地整備の推進 「道路や建築物等における移動の円滑化のため、バリアフリー化を図るとともに、耐震基準を満たしていない建築物が更新期を迎えていることから、防災上の観点からも狭隘道路の解消、建築物の不燃化・共同化・バリアフリー化を図り、誰もが安全に暮らせる市街地整備を推進する。」に修正します。
	「低炭素なまちづくり」といった重要なキーワードがあるので、「環境」というテーマがあってもよいのではないか。	ご指摘のとおり、低炭素社会に向けた取組は必要であり、具体の制度運用において、低炭素まちづくりに向けた取組を位置付けます。
都市づくりの方針	10. 住民主体のまちづくりの環境整備 「自分たちのことは、自分たちで決める」がトレンドになってきている中、情報公開が一番重要であり、ネガティブな情報含めてみんなに知ってもらった上で決めていくような仕組みが必要である。	ご指摘とおり、都市計画は透明性が確保された適切な手続きを経て計画が策定されなければならないことから、具体の制度運用において、都市計画に関する情報提供や開示を位置付けます。
	自主的にNPOの活動に参加するなど、県の職員が考えて、行動することで話題にもなり、まちづくりも進んでいくと思う。	都市の目指すべき将来像において、住民主体のまちづくりを行政がサポートすることとしており、具体の制度運用において、市民、企業、行政の連携・協働による継続的な都市づくりなどを位置付けます。

項目	意見要旨	対応方針
都市づくりのツール	<p>都市づくりの方針を整理するにあたって、都市計画制度にどのようなツールがあるか最初に整理してはどうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、都市づくりのツールについて委員に説明した上で、どのツールをどのように活用して、将来像に向けた都市づくりを進めていくか説明を工夫します。</p>
	<p>ツールの洗い出しは重要ではあるが、自分たちの状況を踏まえ、これからどう変わっていくかを自分たちで考えた上で、どのツールを使っていくかが大事。</p> <p>今あるツールを整理し、ツールが足りない部分や現行のツールでは困る部分について、独自のツールを作らないといけないのではないか。</p> <p>今あるツールを使いこなして、皆が「広島いいな、かついいな、住みたいな」と思えることができればいい。</p>	<p>広島県独自の考え方を持って、ツールを使う人（主に市町）が、自分で考えて使えるような運用方針になるよう、内容の充実やわかりやすさ、見やすさを工夫していきます。</p>
広島型の都市計画のあり方	<p>広島型の都市計画のあり方がないといけないのではないか。</p> <p>運用方針を改訂するにあたり、適応し直しましたではなく、足りないところは付け足し、場合によっては否定してみるということもやってはどうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、画一的な見直しではなく、広島県独自の考え方を持って、広島らしさ、広島地域特性を踏まえた、広島型の都市づくりの運用方針となるよう検討します。</p> <p>また、17年ぶりの改訂となることから、社会情勢の変化や法改正により適合しないものは見直しするとともに、必要なものは付け加えるなどして進めてまいります。</p>